

# 学術サミット

## 活動報告・活動目標

### 一般撮影班

---

#### 2025 年度 活動報告

- 活動テーマを「国立大学病院における全脊椎 X 線撮影の実態調査」とし、最終目標を「全脊椎 X 線撮影の画像診断に最適な画像処理、および至適撮影条件の決定」とした。アンケートにより情報収集を行い、項目の決定・フォームの作成などを行なった。

#### 2026 年度 活動目標

- 全脊椎 X 線撮影の対象は放射線感受性が高い小児であることも多く、かつ撮影範囲が広い。アンケート結果の解析を行い、英文ジャーナルへの論文投稿を行うことで日本の国立大学病院で実施されている全脊椎 X 線撮影の実態を広く周知し、世界的な社会貢献を目指す。

### 血管撮影班

---

#### 2025 年 活動報告

- 時間内/時間外別装置点検のマニュアル（ガイドライン）作成のために、時間内/外始業点検に関するアンケート調査、および夜間の血管撮影室体制に関するアンケート調査を行なった。（2023 年度からの継続）

#### 2026 年度 活動目標

- 時間内/外始業点検、夜間の血管撮影室体制に関するアンケート調査結果をまとめ、（時間内/時間外別）装置点検のマニュアル（ガイドライン）作成し、公開する。（2023 年度からの継続）

## 学術サミット

活動報告・活動目標

### CT 班

---

#### 2025 年度 活動報告

- 大学間での業務内容・得られた研究成果の情報共有を行い、どのような検査内容であっても、精度の高い CT 検査を行える知識や技術を広く普及させることを目的として活動した。
- 小児の造影 CT 検査のプロトコルの参考データベースを構築するための準備が完了した。  
(前年度から継続)

#### 2026 年度 活動目標

- 小児造影 CT 検査における大学間での業務内容・得られた研究成果の情報共有を行い、精度が高く安定した検査が行えるよう参考データベースの完成を目指す。

### MRI 班

---

#### 2025 年度 活動報告

- MR 検査における院内教育（安全管理講習会，患者急変時シミュレーション，災害時シミュレーション）の各施設における実施状況を調査する目的で，ARTNU 関連施設へアンケート調査を実施した。集計結果は資料としてまとめて ARTNU ホームページに電子ファイルで会員みなさまへ共有し還元した。
- 第 8 回学術サミット研修会では上記のアンケート結果報告，および「AI 時代の MR 検査－メーカー横断で探る特徴と課題－」をテーマに議論し，情報発信を行なった。

#### 2026 年度 活動目標

- MRI 部門の教育・医療安全に関して，ARTNU の基準を示す MR 検査に関する院内教育用資料を作成し，教育・医療安全へ貢献できる資料を共有していくことを検討する。

### 放射線治療班

---

#### 2025 年度 活動報告

## 学術サミット

### 活動報告・活動目標

- 治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行なった。
  - ①治療計画 CT と位置決め CT の被ばく線量の調査報告
  - ②放射線治療に関する国立大学病院の現状と運用方法に関するアンケート調査

## 2026 年度 活動目標

- 治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っている。
  - ①治療計画 CT と位置決め CT の被ばく線量の調査報告（継続）
  - ②治療計画の輪郭作成における AI ソフトウェアの精度評価に関する研究を実施する。

## 核医学班

---

### 2025 年度 活動報告

- SPECT-CT, PET-CT 検査における CT 線量調査および放射性医薬品の投与量の調査.
- 核医学検査におけるインシデントの調査と解析.
- 核医学治療の実態調査.

### 2026 年度 活動目標

- 核医学検査におけるインシデントの調査と解析.
- 核医学治療の実態調査.